

学習シラバス

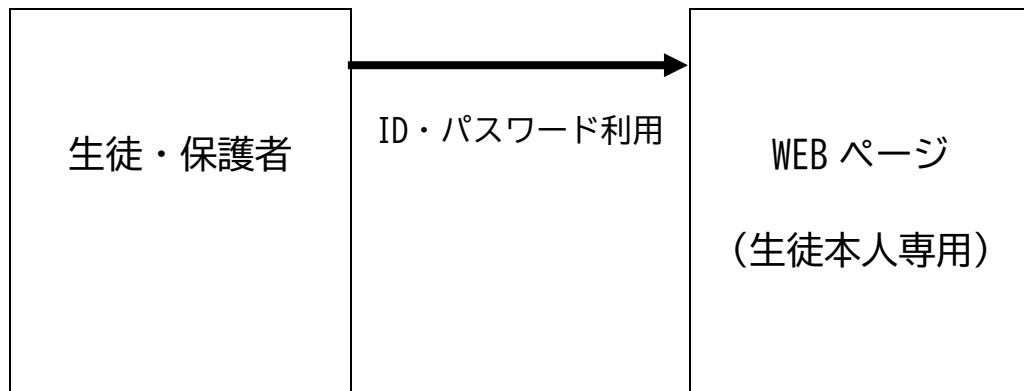
第3学年



令和8年度
朝霞市立朝霞第一中学校

<テスト返却について>

教科やテストによっては、AI 自動採点システムによる自動採点を行っております。そのため、WEB 上での返却をする場合がございますので、ご理解の程よろしくお願いたします。



- ・ I D ・ パスワードは Microsoft アカウントを利用します。
- ・ パスワードは一人ひとり異なります。大文字・小文字・数字の 3 種類から生成されています。
- ・ 本人専用のページにアクセスし、答案を閲覧してください。

※パスワードは絶対に他人に教えないでください！

**※スキャン済みの解答用紙原本は、学校にて適切に処分
します。(生徒には返却しません)**

3年生 国語の学習の進め方

評価の方法

3つの観点を(A), A, B, (C), Cの5段階で評価します。ただし、通知表はA, B, Cの3段階で通知されます。

(A) : 十分に満足できるもののうち特に程度が高い A : 十分満足できるもの

B : おおむね満足できるもの (C) : 努力を要するもの C : 一層努力を要するもの

①知識及び技能

漢字テスト、定期テストにおける言語に関する点数、硬筆・書き初めなどをもとに評価します。

②思考力, 判断力, 表現力等

作文活動、授業内で行うスピーチ、定期テストの読解問題の点数などをもとに評価します。

③学びに向かう力, 人間性等

ノート・ファイル等の提出物、課題作文、発言や話し合い活動等の授業態度、暗誦テストなどをもとに評価します。

1 学期の学習

○詩「世界はうつくしいと」○小説「握手」○漢文「学びて時に之を習ふ」

○話す聞く「説得力のある構成を考えよう」

○話す聞く「意見を聞き、適切さを判断する」

○言語「「走っているのは誰？」」○言語「相手や場に応じた言葉遣い」

○論説「作られた「物語」を超えて」○漢字「熟語の読み方・漢字に親しもう」

○俳句「俳句の可能性」○「俳句を味わう」○書写（硬筆）

○書く「論理の展開を意識して書こう」○随筆「言葉の釣り糸を垂らす」

2 学期の学習

○言語「和語・漢語・外来語」○詩「挨拶」○小説「故郷」

○書く「論理の展開を整える」○言語「慣用句・ことわざ・故事成語」

○言語「漢字の造語力」○論説「複数の意見を読んで、考えよう」

- 古典「和歌の世界」○随筆「温かいスープ」 ○随筆「アラスカとの出会い」
- 古文「古今和歌集仮名序」○古文「君待つと一万葉集・古今・新古今」
- 古文「夏草——「おくのほそ道」から」
- 話す聞く・書く「話し合いを効果的に進めよう」
- 漢字「漢字のまとめ・漢字に親しもう」○書き初め（毛筆）

3学期の学習

- 詩「初恋」○論説「それでも、言葉を」
- 随筆「律儀な桜」 ○詩「わたしを束ねないで」○書く「三年間の歩みを振り返ろう」
- 詩「初日」 ○言語「文法 一、二年生の復習」

3年生であるため、教科書の内容以外にも問題演習等を行う予定です。

令和 8 年度 社会科 年間シラバス

朝霞市立朝霞第一中学校

学 年	3年	教 科 書	歴 史（新しい歴史）東京書籍 公 民（新しい公民）東京書籍 地図帳（中学校社会科地図）帝国	問題集 歴史,公民（新学社,新学社）
--------	----	-------------	---	--------------------

1 学習到達目標

中学校で学ぶ「社会科」は、地理的分野・歴史的分野・公民的分野に分かれます。

3年では、歴史的分野（第一次世界大戦以降）と公民的分野を学習します。

教科としての目標は主に以下の4点です。

- ① 広い視野に立ち、社会に関する関心を高めること。
 - ② 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的、多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決策を構想する力を養うこと。
 - ③ 日本の国土と歴史について理解と愛情を深めること。
 - ④ 国際社会を生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うこと。
- 三分野の学習を通して、これらの達成を目指していきます。

2 学習方法

社会科には各単元の目標があり、そこから各時間の学習のねらいや目標が設定されています。単元を貫く学習課題や各時間の学習課題を意識しながら授業を受けましょう。そのねらいにせまるために、講義だけでなく、自分で考えたり、自分の考えを述べたり、友達と交流したりする場面に授業内に設定していきます。考えたこと、資料から読み取ったこと、グループで協働して行う課題解決の際の意見などを積極的に表現していきましょう。

- ① 基礎知識の定着に取り組むこと。

考えを形成するためには土台となる知識が大切です。良く授業を聞き、反復学習をしたり、教科書で調べたりして基礎的知識を確実にしていくことが大切です。

- ② 学習した事象や人物の因果関係をつかむこと。

学習することとは、バラバラな知識を詰め込むことではありません。自分がそれまでに知っていることがらと結びつけることが大切です。様々な思考ツールを使って、知識をつなげていく学習も効果的です。

- ③ 今の社会との関わりを考えること。

私たちが「今生きている土地」や「今に至るまで」の先人の歩みについて、社会科では学習します。私たちが今生活している社会とのかかわりを考えながら学習してください。

社会科の学習の目的は、細かいことがらをくり返し反復したり、暗記したりすることではなく、知識を関連づけたり、資料を活用したりして、物事の本質を追究することです。また、知識や資料を活用し、社会にみられる様々な課題に関心を持ち、よりよい社会の実現を視野に解決策を構想しようとする態度が重要です。そのためにも日々の授業を集中して受け、テスト前はワークを繰り返し解き基礎知識の定着を図るとともに、現在の社会で起きている出来事への関心を高めてほしいと思います。

3 家庭学習

社会科では予習よりも復習に力を入れてほしいと思います。

- ① すぐに復習する習慣をつける。

・ 小学校の社会科に比べると、1回の学習で取り扱う内容は大きく増えます。一つのまとまった単元が終わった時点で、学習内容を復習しましょう。

- ② 問題集を繰り返し解く。

・ 試験前は問題集を繰り返し解きましょう。解く→間違える→間違えたところの復習を教科書やノートでする。→解きなおす。のサイクルを作ってください。

- ③ 単元ごとのレポート課題などを真剣に取り組む。

・ 1つの単元を学習した後に実施するレポート課題等、一生懸命取り組んでみてください。その単元のよい振り返りになりますし、改めて学習したことを関連付けながら復習ができるはずです。

4 学習内容及び評価について

月	学 習 内 容	試 験	評 価 観 点	評価の場面・方法
4	<歴史的分野> 第一次世界大戦と日本	中間試験	主體的に学習に取り組む態度 ○社会的事象への関心を持ち、その課題に意欲的に取り組み、よりよい社会について考えていこうとする姿勢が見られるかどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート、プリントの記入状況(板書、メモ、課題への取り組み状況、自分の考え、自主的な内容) ・授業への取り組み状況(参加発言、話し合い活動) ・提出物の状況 ・テストの取り組み状況
5	世界恐慌と日本の中国侵略	期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。 ・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。 ・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。 ・未到達な内容についてどれだけ努力ができたか 	
6	第二次世界大戦と日本 戦後日本の発展と国際社会 新たな時代の日本と世界			
7	<公民的分野> 現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方			
9	人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障	中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。 ・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。 ・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。 ・未到達な内容についてどれだけ努力ができたか 	
10	現代の民主政治 国の政治の仕組み			
11	地方自治と私たち 消費生活と経済	期末試験	知識・技能 ○我が国の歴史と政治、法、経済など社会的事象に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
12	生産と労働 市場経済の仕組みと金融 財政と国民の福祉 これからの経済と社会	学年末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の活用方法を身につけることができたか。 ・さまざまな統計・文献資料などを読みとることができたか。 ・調査した内容を工夫してまとめることができたか。 ・資料を読みとる問題を解くことができたか。 ・知識や理解を問う問題を解くことができたか。 	
1	国際社会の仕組み			
2	さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本			
3	より良い社会を目指して			

5 評価について

(1) 評価の観点 (各観点 A～C の 3 段階)

① 知識・技能

② 思考・判断・表現

③ 主体的に学習に取り組む態度

A→十分満足している

B→おおむね満足している

C→「B」に達していない

(2) 評定

上記の3つの観点のA～Cの組み合わせにより、「教科として1～5の評定がつきます。また、埼玉県中学校教育課程指導・評価資料に基づいて評価します。

朝霞市立朝霞第一中学校 第3学年 数学の学習の進め方

～ 数学の授業を通してこんな生徒になってほしい ～

- ・わからないことをわかろうと、努力を続ける生徒
- ・物事をすばやく処理したり、筋道を立てて考えたりすることのできる生徒
- ・思いやりの気持ちを忘れずに、まわりの人と協力できる生徒

1. 授業への取り組み方

① 確認テスト・単元テスト

- ・内容に応じて節ごとの確認テストや単元のまとめとして単元テストを実施することがあります。教科書の問いを通じて、公式や定理などの成り立ちを確認しておきましょう。

② ノートの取り方

- ・問題練習の答え合わせは、すばやく、確実に行いましょう。分からないままにしておいたり、間違いを直さないでいたりすると、力になりません。
- ・図は大きくていねいにかきましょう。図をきちんとかくことは、数学の力を高めることにつながります。
- ・教科書p.36, 37の参考例(マイノート)も見てみましょう。

③ 話の聞き方

- ・先生の話で大事な点は、メモをとるなど工夫すると、数学の力がつきます。特に数学の式表現や独特の言い回しなど、教科書にはない説明でも大事な内容があります。話をしっかり聞くことを、日頃から心がけましょう。
- ・友達の意見を聞くときは、自分の考えと比較して聞かましょ。自分の考えが、より深くなります。

2. 提出物について

○ワーク

- ・ワークは学習したことを、どれだけきちんと身につけようとしているのか、その人の努力する姿勢が見えるものです。たくさん間違えているからダメだということはありません。粘り強く取り組んでください。

【ワークの取り組み方】

- ・途中式を書くようにしましょ。
- ・筆算や、計算メモなども残しましょ。きれいに消す必要はありません。
- ・間違った問題には、必ず赤ペンで直しをしましょ。
- ・わからなかった問題でも、解答を見て考え方を記入しましょ。
- ・計算スペースが足りない場合には、別紙や付箋を貼っても構いません。

それ以外にも、ノートやテスト直しレポート、宿題等の提出もあります。

3. 家庭学習について

数学は復習に力を入れて取り組んでほしい教科です。特に授業で取り組んだ問題を家でもう一度解いてみて、もしも解けなかったら、自分が分かったつもりになっていた問題です。力を入れて復習してみてください。次の授業への準備につながります。

4. 評価について

3つの観点を①、A、B、②、Cの5段階で評価します。ただし、通知表はA、B、Cの3段階で通知されます。

①：十分に満足できるもののうち特に程度が高い A：十分満足できるもの B：おおむね満足できるもの

②：努力を要するもの C：一層努力を要する

① 知識・技能

数量や図形の基礎的な概念等を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

② 思考力・判断力・表現力

事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に判断・表現をすることができる。

③ 主体的に学習に取り組む態度

忘れ物、問題集の提出・内容、授業中の挙手発言、意欲的な授業への取り組み、宿題、レポート、確認テスト等、総合的に判断します。私語などの授業を妨害することは大きく減点されます。

①、②については、定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での取り組みを中心に、評価項目にあった内容部分の得点をもとに、A、B、Cで評価しています。

【評定について】

各評価の観点ごとA、B、Cの評価をもとに総合的に判断し、5段階の評定で評価します。

(例) AAA→5, 4 AAB→4 AAC (ABB) (BBB) (ABC) (BBC) →3 BCC→2 CCC→2, 1

【学年評定について】

1学期から3学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価(A・B・C)と評定(5段階)を行います。

【1年間の学習内容】

1章 [多項式] 文字式を使って説明しよう

・多項式と単項式の乗除 ・多項式の乗法 ・乗法公式 ・因数分解 ・公式を利用する因数分解 ・式の計算の利用

2章 [平方根] 数の世界をさらにひろげよう

・平方根 ・根号をふくむ式の乗除 ・根号をふくむ式の加減 ・根号をふくむ式のいろいろな計算

3章 [2次方程式] 方程式を利用して問題を解決しよう

・2次方程式とその解 ・平方根の考えを使った解き方 ・2次方程式の解の公式 ・因数分解を使った解き方
・いろいろな2次方程式 ・2次方程式の利用

4章 [関数 $y=ax^2$] 関数の世界をひろげよう

・関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ のグラフ ・関数 $y=ax^2$ の値の変化 ・関数 $y=ax^2$ の利用 ・いろいろな関数

5章 [相似な図形] 形に着目して図形の性質を調べよう

・相似な図形 ・三角形の相似条件 ・相似の利用 ・三角形と比 ・平行線と比 ・相似な図形の相似比と面積比
・相似な立体の表面積の比や体積比

6章 [円] 円の性質をみつけて証明しよう

・円周角の定理 ・円周角の定理の逆 ・円周角の定理の利用

7章 [三平方の定理] 三平方の定理を活用しよう

・三平方の定理 ・三平方の定理の逆 ・三平方の定理の利用 ・いろいろな問題

8章 [標本調査] 集団全体の傾向を推測しよう

・標本調査 ・標本調査の利用

理科 3 学年

1. 学習目標および年間計画

- (1) 水溶液の電気的な性質や、酸、アルカリの性質の学習を通して、イオンとは何かを理解する。
- (2) 観察実験を通して、細胞レベルで見た生物の体のつくりと生殖について学び、親の形質が子に伝わり（染色体の遺伝子による）、生命のバトンが渡され、受け継がれることを認識させる。
- (3) 運動のようすの調べ方を学び、力と運動について基本的な規則性について理解させ、仕事・エネルギーの考え方を理解し、実験観察を通して興味関心を高める。
- (4) 天体の観測を通して、地球の運動について考察するとともに、太陽の特徴や太陽系についての認識を深め、天体及び宇宙への興味関心を高める。
- (5) 自然界における生物相互の関係について学び、食物連鎖により生産者・消費者・分解者のつりあいが保たれていることを理解する。
- (6) 水力、火力、原子力などのエネルギーについて理解し、資源の有効な利用について考えさせ、科学技術と人間生活に対する興味関心を高める。

理科 I		理科 II	
月	項目	月	項目
4	単元 1 化学変化とイオン 1 章 水溶液とイオン	4	単元 2 生命の連続性 1 章 生物の成長と生殖
5	2 章 酸、アルカリとイオン	5	2 章 遺伝の規則性と遺伝子
6	3 章 化学変化と電池	6	3 章 生物の多様性と進化
7	単元 3 運動とエネルギー	7	単元 5 地球と私たちの未来のために
8	1 章 物体の運動	8	1 章 自然のなかの生物
9	2 章 力のはたらき方	9	2 章 自然環境の調査と保全
10	3 章 エネルギーと仕事	10	単元 4 地球と宇宙
11	単元 5 地球と私たちの未来のために	11	1 章 地球の運動と天体の動き
12	3 章 科学技術と人間	12	2 章 月と金星の見え方
1	終章 持続可能な社会のために	1	3 章 宇宙の広がり
2		2	

2. 評価の観点・方法

① 知識および技能

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的な内容について基礎的な知識を身につけ理解を深められたか、および観察・実験の基本操作の習得、観察・実験の方法についての評価項目です。

○定期テストや小テスト、器具の扱い方、観察・実験の手順、レポート、データの正確さ、実技テストなどから評価します。

② 思考力・判断力・表現力

☆自然に関する事象や現象について、科学的に筋道をたてて考え、実験の結果を推察したり、結果から規則性や仕組みなどを見だし、まとめ、表現する力についての評価項目です。

○定期テスト、観察・実験のレポートの内容や授業の発言内容、プリントの記入状況、口頭テストなどから評価します。

③ 主体的に学習に取り組む態度

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的内容について興味・関心を持ち、積極的に調べたり考えようとする態度についての評価項目です。

○授業中の発言内容や授業への貢献度、集中度、ノートの記録状況(書き方、まとめ方)、観察や実験に取り組む態度、提出物、定期テストから評価します。

以上の3観点の評価を総合し、5段階で評定します。

「埼玉県中学校教育課程指導・評価資料」に基づいて評価します。
詳細は埼玉県教育委員会のホームページでも確認できます。

3. 3学年理科の学習のしかた

- ① 理科の授業は自然現象の観察や実験が中心になります。積極的に実験器具や観察用具に触れ、興味・関心を高めながら授業に参加することが大切です。
- ② 実験・観察の目的を理解し、結果・考察までの見通しを持ち、予想を考えてから実験操作を行うことで、実験を深い学びにつなげましょう。
- ③ 実験の考察は班単位で話し合い、考えを深めたあと、必ず自分の言葉でかきましょう。
- ④ 授業中に配布されたプリント類は、なくさないようにノートにきれいに貼り付けましょう。理科1と理科2の授業用ノートは別々に用意してください。
- ⑤ 黒板に書いたことは必ずその時間にノートに記録しましょう。ただ黒板をうつすだけでなく、積極的にメモをとるようにすることがポイントです。
- ⑥ 授業の進度に合わせ、ワークを家庭学習として取り組みましょう。ワーク専用のノートを使って繰り返し問題を解くことがポイントです。間違った問題は、模範解答とよく照らし合わせて、正答の意味まで理解することが大切です。

音楽科	第3学年	1年間の学習内容とねらい
-----	------	--------------

音楽科の達成目標

- 音や音楽への興味関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする意欲を身につけさせる。
- 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音との関わり合い、形式などや、速度・強弱の働きを知覚し、音楽の持つ曲想や美しさを感じ取る能力を身につけさせる。
- 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、曲に対する自分の解釈やイメージを、音を通して適切に表現していくため発声や楽器の扱い、読譜力などの基本的な表現の技能を身につけさせる。
- 楽曲の雰囲気や曲想と諸要素のはたらきによる効果、我が国の音楽および世界の諸民族の音楽の特徴などを感じ取らせる。

評価の観点・方法

- 【評価の観点】**
- 知識・技能
 - 思考・判断・表現
 - 主体的に学習に取り組む態度
- 【評価の方法】**
- 実技テスト(歌唱・器楽)
 - 実技テストのふりかえりカード
 - 鑑賞ワークシート
 - 自己評価・相互評価
 - 授業の取り組み
 - 定期テスト(年2回)

特色ある学習方法

- VTR等を利用した合唱の取り組み(合唱コンクールや卒業式の映像。)
- 伝統音楽を大切に育て、和楽器や郷土の音楽を取り入れた学習

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○《花》 (心の歌) 【歌唱】 ○《ブルタバ》 【鑑賞】 ○学年合唱曲 【歌唱・鑑賞】 ○アルトリコーダー 「虹の彼方に」 【器楽】 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語の抑揚にあわせた旋律の美しさを感じ、2声に分かれたハーモニーを楽しみながら歌う。 ○自然や情景を想像し、曲の背景や歴史を理解して鑑賞する。 ○曲にふさわしい発声法を学び、表現を工夫して歌う。 ○歌詞の内容と曲想とのかかわり、曲の構成などの特徴を理解し、表現を工夫して合わせて歌う。 ○アルトリコーダーの運指と基礎的な奏法に慣れ、重なり合う響きを聴きながら演奏する。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱コンクールの クラス曲【歌唱】 ○アルトリコーダー 「クリスマスおめでとう」 【器楽】 	<ul style="list-style-type: none"> ○声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、音楽の構成を生かした表現を工夫する。 ○アルトリコーダーの運指と基礎的な奏法に慣れ、重なり合う響きを聴きながら演奏する
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ポピュラー音楽 【器楽・鑑賞】 ○卒業式歌、卒業式答 辞の学年合唱 《群青》 【歌唱・鑑賞】 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々なジャンルのポピュラー音楽を聴き、その特徴や現代音楽を魅力を味わう。 ○歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きを生かして表現を工夫する。

美術学習案内（3学年）

美術の目標（中学校美術の学習を通して身につける力）

1. 感動する心を大切に、心を豊かにしよう。
2. 自分らしさを追求し、表現しよう。
3. 工夫する能力を育てよう。
4. 計画的に制作し、ねばり強く制作しよう。

※授業前・授業中に心がけること！

- ① 授業の準備物を用意する！
忘れものは、減点対象となり、制作に遅れをとります。**物の貸し借りは禁止です！！**
- ② 宿題や未提出の課題がないか確認する！
基本的に宿題はありませんが、課題が遅れて提出できないと、宿題、補習となることがあります。
- ③ 時間を守って行動する！
移動教室となります。何の持ち物が必要になるか把握して、時間に余裕をもって教室にきて下さい。
- ④ メリハリをつける。
美術は自分の主体性が大事です。聞く・考える・作業する、時間をみて計画的に制作していきましょう。
- ⑤ 集中して作品と向き合う。
個人制作がメインです。自分が飽きた、終わったからと言って人にちょっかいを出すことはやめましょう。
- ⑥ 作品や道具を大切に作る。
自分の作品や道具を大切にすると同時に、友達のものも大切に扱きましょう。

※評価について

- 知識・技能 : 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。
表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
(作品、授業プリント、行動観察)
- 思考・判断・表現 : 課題に対して、自分なりに考え、アイデアを練り、まとめられる。
(アイデアスケッチ、作品、行動観察)
- 主体的に学習に取り組む態度 : 美術の創造活動の喜びを味わい
主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
(提出物、授業態度、行動観察、学習カード)

- ・上記の3観点による評価となります。これらの観点を3段階（A・B・C）で評価し、それらを総括して5段階の評定を出していきます。
- ・授業数が少ないので、授業でのきまりごとをしっかりと守って創意工夫しながら活動してください。
- ・課題により評価のポイントが異なる場合もあります。
課題で配られるプリントを参考にしてください。
- ・授業の内容によって評価の観点の比重が変化することがあります。

※学習活動

1 学期	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーション・自画像（平面）・鑑賞	学期ごとの課題設定の予定です。 制作の進度に応じて変更することがあります。 詳細については、授業内でお知らせいたします。
2 学期	<ul style="list-style-type: none">・15 歳の存在証明（立体・平面）・陶芸（立体）・鑑賞	
3 学期	<ul style="list-style-type: none">・気持ちを贈ろう（平面）・鑑賞	

保健体育科学習案内

【評価の進め方】

※各観点別について（各選択種目の総合点で算出）

8割達成⇒A, 5割達成⇒B, 3割以下⇒C

※観点別の内容について

◆知識及び技能

- ①授業内容やルールの理解度
- ②技能テスト
- ③授業の観察（ゲームの様子等）

◆思考力, 判断力, 表現力等

- ①授業の観察（工夫した練習, 課題を克服する練習選択, 仲間へのアドバイス）
- ②学習カードの充実度

◆学びに向かう力, 人間性等

- ①体育授業の参加状況（欠席や見学の回数）
- ②授業の観察（発言・行動・積極性）
- ③学習カードの内容

※評定は、総合点で算出する。

【1学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
4月～	・オリエンテーション ・新体力テスト ・器械運動（マット運動・跳び箱） ・水泳			保健
5月～				
6月～				

【2学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
9月～	・陸上競技（ハードル・走り幅跳び・走り高跳び） ・球技（ソフトボール・バレーボール・バドミントン） ・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス）			保健
10月				
11月～				
12月～				

【3学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
1月～	・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス） ・球技（サッカー・バスケットボール）			保健
2月～				
3月～				

【自主学習の仕方】

- 昼休みの運動、部活動での運動、放課後の運動を通して体力強化を図る
- スポーツをテレビや現地で観戦し、関心を高める。

令和 8 年度 技術・家庭科(技術分野) シラバス

3 学年

◆技術分野の目標◆

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

【学習内容】

技術分野は、「A 材料と加工の技術」、「B 生物育成の技術」、「C エネルギー変換の技術」、「D 情報の技術」の 4 つの領域で構成されています。各領域において、一人ひとりが学習できるように教材・教具を用意し、製図、製作、整備、操作などの実習を通して、実践的・体験的な学習活動を進めていきます。

◆3 年間の学習◆

- | | | |
|------|---|------------|
| 1 年生 | ガイダンス、生物育成に関する技術を利用した栽培、材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作 | 合計 35 時間 |
| 2 年生 | エネルギー変換に関する技術を活用した製作品の設計・製作、情報とコンピュータ | 合計 35 時間 |
| 3 年生 | プログラムによる計測・制御作品の設計・制作、情報セキュリティーとモラル | 合計 17.5 時間 |

【授業の約束や用意するもの】

技術科では機械類、刃物類、電気、コンピュータなどを取り扱って実習するため、安全に充分留意するとともに、危険のない行動を進んでできるようにしましょう。また、教科書、学習ノート、タブレット、その他指示されたものは毎回持ってくるようにしましょう。

【評価の観点・方法・基準】 次の 3 つの観点で評価をします。

(1) 「知識及び技能」

作業や実習計画案への積極性、毎時間の学習の取り組み状況（発言等）、作品の製作や実習を通して、基本的な技術が身についたかどうかをレポートやテスト等で評価します。また、その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況、完成するまでの作品や実技テスト、自己評価などで評価します。

(2) 「思考力・判断力・表現力」

生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして自ら課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、レポート等で表現するなどして課題を解決する力を評価します。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」

安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に話し合い等で主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしていることを話し合い活動やレポート、自己評価、定期テスト等で評価します。

3年生では、1年間を通して生活とコンピュータのかかわりを知り、ソフトウェアを活用して技術習得を目指します。また、センサーカーの制作をおこない、走らせるための自分オリジナルのプログラミングを作成していきます。

☆ 年間計画 ☆

月	章	学習内容	学習のねらい
4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生での学習を知る ・ 情報活用について ・ タコラッチミニについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術の授業に見通しを持つことができる ・ 必要な情報を集め、編集してプレゼンテーションをすることができる。 ・ 制作に興味を示すことができる
5 6 7 9	デジタル作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制御をおこなうための作品を制作する。 ・ 製作品の加工 ・ 制作品の組立 ・ 制作品の検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部品の用途を確認できる ・ 取り付け方法を知り、適切に加工することができる。 ・ 最後まで組み立てができる ・ あらかじめ内蔵されたプログラム通りに試運転が出来る。
10 11 12 1	プログラムによる計測・制御	<ul style="list-style-type: none"> ○ プログラムによる計測・制御 ・ 身の回りにある電気製品について自動的に仕事をする例を調べる。 ・ コンピュータを利用した計測、制御の流れを調べる。 ・ レゴ・スパイクプライムによる簡単な計測、制御するためのプログラムを作成する。 ・ 作品発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動的に仕事をする機能について理解できる ・ 計測・制御システムにおける構成や、その中でのプログラムによる情報の処理について理解できる。 ・ 設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。
2	情報技術を活用しよう	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報技術が社会や環境に果たしている役割について調べる。 ○ これからの生活や社会を豊かにするための情報技術の活用方法を考える。 ○ 情報技術を適切に評価、活用するための活動を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報に関する技術の課題を、社会的、環境的および経済的側面などから比較・検討し、適切な解決策を示すことができる。 ・ 情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。

【家庭分野の目標】

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

【評価の観点・方法】

<評価の観点>
 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

<評価の方法>

①「知識・技能」
 「知識」については、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、学習プリントの記入状況、定期テストなどを評価します。

「技能」については実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうかを評価します。主に、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などを多面的に評価します。

②「思考・判断・表現」
 習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場で自分の考えを深め、工夫したり、創造したりする状況などにより多面的に評価します。（レポートやワークシート、振り返りカード、発表など）

③「主体的に学習に取り組む態度」
 積極的に取り組む意欲や態度を重視して評価します。主に、作業や実習、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、学習プリントなどを評価します。

時間	学習内容	学習のねらい
17.5 時 間	家族・家庭と子どもの成長 ○中学生になるまで ・わたしの成長と家族や周囲の人々	・家族の一員として、よりよい生活を送ろうという意識を高める。
	○幼児の生活と遊び ・幼児期とはどんな時代か ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・子どもの成長と家族の役割 ・幼児の遊びと発達 ・幼児の遊びを支える	・子どもの成長について学び、自分の成長を振り返ることで、今の自分を見つめ直す。 ・これから自分がどのように成長していくのか見通す力を身につける。 ・幼児の心身の発達を理解することができる。 ・幼児の生活に関心を持ち、幼児の生活に役立つ環境作りを工夫して考えることができる。
	○幼児とのふれ合い ・幼児のおもちやづくり ・幼児のおやつづくり ・幼児とのふれ合い	・幼児の遊び道具の製作を通して、遊び道具の役割や遊びを支える環境について考えることができる。 ・幼児の観察を通して幼児と適切にかかわることができる。
	○これからのわたしと家族 ・中学生と家族とのかかわり	・家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えることができる。

【家庭学習のしかた】

休日の食事作りやYシャツのボタンつけなど、授業で習ったことを生活の中で実践してみましょう。
 家庭での自分の役割を確認し、自立に向け、さらに自分でできることを増やしていきましょう。

R8 3 学年英語科 シラバス & 今後の予定

《 大切なこと 》

- ① 授業の内容を復習しておくこと。
→ わからないところ、忘れてしまったところをそのままにしておかないこと。
わからないところは、分かるまで先生に質問をすること。
- ② 「予習・授業・復習」の流れをきちんと身につけ、家庭学習の時間を確保すること。
→ テスト前だけ勉強するのではなく、普段から勉強すること。
- ③ 単語と文法を覚えることは大切です。長文読解や応用問題などにも役立ちます。文法のルールをしっかりと整理して覚えるとともに、受験に備えて長文問題に慣れておくと良いでしょう。また、暗記しなければならないことも多いのでコツコツ取り組んでいきましょう。

《 評価について 》

	ポイント
知識・技能	英語使用の正確さを評価 →英作文・定期テスト・小テスト・パフォーマンステストで評価します。
思考・判断・表現力	自分の言いたい事を英語で伝えたり、書けている。 →英作文（内容や構成）・スピーチ発表・スピーキング・定期テスト・パフォーマンステストなどで評価します。
主体的に学習に取り組む態度	必要な情報を得ようとする根気強さ・英語で伝えようとする根気強さ。 →授業中の活動・提出物・振り返りシート・小テスト・パフォーマンステストで評価します。

《 家庭学習について 》

《 聞く 》

- ・単語や教科書の本文を音声で確認してみよう。教科書のQRコードを読み取ってみよう。
- ① 音だけ ②文字を見ながら ③聞き取れたものを書いてみると良い。

《 読む 》

- ・音読は正しい発音と文法を同時に覚えることができる勉強方法です。教科書を見ながら、たくさん口を動かして、身体に英語をしみこませよう。タブレットを活用して音読テストも行います。

《 話す 》

- ・英語の勉強は真似をするところから。授業で覚えた英文、先生の真似をしながら口に出してみよう。AETの先生に積極的に話しかけてみよう。

《 書く 》

- ・正しいスペルを覚えるには、口と手を動かすことが必要です。その日に習った単語や文を声に出しながら、家庭学習ノートに書いてみよう。その時に、青いペンを使うと集中力が増すと言われていいます。見本を見なくても書けるようになるまで繰り返し練習しよう。

《 使用教材について 》

- ① 教科書（東京書籍 NEW HORIZON English Course3）
- ② ベストノート前期（後期は7月頃配布します）
- ③ オレンジファイル
- ④ ジョイフルワーク（新学社）
- ⑤ 英語ミニラボ（1・2年で使用した物）
- ⑥ みみぱず（リスニング）

P6 Unit 0 Discover a New Side of Classmates

目標 新しいAETに自己紹介をしよう！【書くこと・話すこと中心】

時間	内容
1 時間目	教材配布 & 自己紹介文章作成
2 時間目	Introduce yourself to the new AET 【Speaking】 ① 発音やアクセントに気を付けながら自分の好きな事や物を英語で相手に伝えることができる。 ② 「I'm into～」の表現を使い、自分が夢中になっていることを説明できている。

P9 Unit1 What is special about Japanese pop culture?

単元目標 日本のポップカルチャーの魅力を考えて伝えよう！【読むこと・話すこと・書くこと中心】

時間	内容
1 時間目	現在完了形の形やどんな時に使うのかを覚えよう！
2 時間目	現在完了形の【経験用法】を理解しよう① P10
3 時間目	現在完了形の【経験用法】を理解しよう② P11
4 時間目	純とチェン先生になりきってペアで読んでみよう！ P11 【Reading】
5 時間目	Make+O+C（OをCの状態にする）の表現に慣れよう！P13
6 時間目	アニメの記事を読んで外国人記者の願いが何かを理解しよう！（読解）P12
7 時間目	SVOOの形に慣れよう！ P15
8 時間目	本文から純がアニメを通してどんなことを考えたのか読み取ろう！P14
9 時間目	日本のポップカルチャーの魅力を伝えよう！①（Writing）
10 時間目	日本のポップカルチャーの魅力を伝えよう！②（Writing）
11 時間目	パフォーマンステスト 評価 ABCD サーリンに休日のプランを紹介しよう！③ 【Writing】

P19 Unit2 How do you choose your clothes?

単元目標 エシカルな商品をPRしよう！【書くこと中心】

時間	内容
1 時間目	現在完了形の【完了用法】を理解しよう！ P20
2 時間目	本文を読んで、現在完了形の【完了用法】に慣れよう！P20
3 時間目	現在完了形の【継続用法】を理解しよう！ P21
4 時間目	純とオリビア先生になりきってペアで読んでみよう！P21 【Reading】
5 時間目	現在完了進行形に慣れよう！ P23
6 時間目	P22 を読んで衣料品会社はどんな取り組みをしているか読み取ろう！P22
7 時間目	パフォーマンステスト 評価 ABCD エシカルな商品を伝えるポスターを作成しよう①！ 【Writing】
8 時間目	パフォーマンステスト 評価 ABCD エシカルな商品を伝えるポスターを作成しよう②！ 【Writing】